2023/03/23

今日[SCN\_RC11\_090\_方式処分対象書類選択：方式調査対象事件選択画面]のフロントAD仕様書を作成しました。わからないことは蔡さんに聞いてみました。

1. コンポーネント定義書を書き：「CLS\_BA-040-10\_画面設計書\_SCN\_RC11\_090\_方式処分対象書類選択：方式調査対象事件選択画面」を参照し、「セクション名」、「項目名(論理名)」を取得しました。そして「表示部品ID」は「CLS\_AA-010-03\_AP基盤機能一覧（詳細設計工程）」から取得しました。「ストア定義書」と「フォーム定義書」はまだ作成するので、コンポーネント定義書の「結合項目名(物理名)」と「フォーム項目名(物理名)」は書かないほうがいいと思います。

イベント名は「画面設計書\_SCN\_RC11\_090」のイベント一覧から見ることができます。各sheetは1つのイベントに対応し、画面設計書とインタフェース文書を参照して書きました。

1. ストア定義書を書き：1つのインタフェースにはparam、result、errorの3つの状態があります、実行、成功、失敗の3つのアクションもあります。インタフェース設計書とデータ辞書を参照して、ストア定義書を書きました。
2. フォーム定義書を書き：「インタフェース設計書」と「CLS\_AA-010-06\_画面設計書(詳細設計工程)(クライアント)\_SCG\_RC11\_040REG」を参照して、インタフェースごとに1つのフォームに対応、
3. 最後は「画面設計書(詳細設計工程)(クライアント)\_SCG\_RC11\_040REG」、「P-030-01\_ストア定義書\_SCG\_RC11\_040REG」と「P-030-01\_フォーム定義書\_SCG\_RC11\_040REG」参照して、コンポーネント定義書の「結合項目名(物理名)」と「フォーム項目名(物理名)」を作成しました。注意paramとresultを区別するには詳細設計書に基づいて確認する必要があります。